

2019年度



# 青雲会 会報

2019年4月23日

編集・発行

青雲会(大阪大学法学部同窓会)  
会長 片岡 和行

事務局

〒560-0043 豊中市苅藁山町1-6  
大阪大学大学院法学部研究科内  
TEL&FAX.06-6850-5198  
E-mail ishibashi@seionkai.net  
http://www.seionkai.net/

印刷 株式会社 絆コーポレーション

2019年度

## 青雲会総会のご案内

### ●講演会のテーマ

### 『AI、ロボットと法律について』

講師 弁護士 <sup>こばやし まさひろ</sup> **小林 正啓**氏(大阪弁護士会)

### ●日時

2019年7月20日(土)  
午前10:30開会

10:30 - 11:15 総会  
11:20 - 12:20 講演会  
12:30 - 14:30 懇親会

### ●会費

一般 **8,000円**

(周年記念:6,000円、卒業後5年以内:2,000円、学生:1,000円)

(注)◎周年記念:10年:57期、20年:47期、30年:37期、40年:27期、50年:17期、60年:7期の会員です。

◎卒業後5年以内:2015年3月~2019年3月卒業の会員です。

ご出席の方は、会費の**前納**をもって申込みとさせていただきます。同封の払込み用紙をご利用ください。

■ **払込み期限 6月28日(金) [必着]**

### ●会場

### 太閤園 ゴールデンホール

〒534-0026 大阪市都島区網島町9-10  
TEL 06-6356-1110 (代表)

JR東西線大阪城北詰駅(3号出入口)より徒歩1分  
京阪京橋駅(片町口)より徒歩7分  
地下鉄長堀鶴見緑地線京橋駅(2番出口)より徒歩5分

### ●講師



弁護士 <sup>こばやし まさひろ</sup> **小林 正啓**氏(大阪弁護士会)

【学歴・学位】東北大学法学部 卒業

【専門分野・キーワード】民事訴訟 人工知能 ロボット 自動運転 ドローン

【職歴】1992年4月 弁護士会登録(44期)

2018年4月 大阪弁護士会副会長

経産省次世代ロボット安全性確保ガイドライン検討委員会委員(2007)

科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業領域アドバイザー(現職)

経産省・総務省IoT推進コンソーシアム カメラ画像活用SWG

総務省情報通信政策研究所AIネットワーク社会推進会議「開発原則分科会」構成員

【研究業績など】

<論文>

「クラウドネットワークロボットの法的問題点(小特集)クラウドネットワークロボット-クラウド化で広がる新たなネットワークロボットの可能性-」  
2012年12月01日 電子情報通信学会誌 95(12)/一般社団法人電子情報通信学会

「人物を認識することの法的問題点-監視カメラシステムの設置運用基準-」社団法人情報処理学会 ほか



## 青雲会会長 ご挨拶



会長 片岡 和行(24期)

本年4月1日より、内藤欣也前会長から青雲会会長を引き継ぎました新制24期の片岡和行です。多くの優れた諸先輩がおられる中、会長職をお引き受けすることには躊躇をいたしました。内藤前会長はじめ歴代の会長や幹事会のご推挙を頂き、誠に微力ではありますが、皆様のご協力を頂きながら務めて参りたいと思います。何卒、宜しくお願い申し上げます。

私は昭和51年に大学を卒業し、三和銀行(現三菱UFJ銀行)に入行しました。その後三菱UFJリースを経て、昨年の6月に池田泉州銀行の会長を退任し、現在は特別顧問しております。青雲会ではご縁があって、野村会長、初谷会長、内藤会長の3代の会長に副会長として支えて参りましたが、そのまま会長職を務めることになるとは、思ってもいませんでした。

今回、会長をお引き受けするにあたって、青雲会の役割と現状の課題について改めて考えてみました。「人生100年時代」を展望すると、自然に豊かな人間関係を形成出来るプラットフォームとしての青雲会の役割は、益々重要になっています。そうした観点で、今後重点的に取組むべき課題は、第一に「組織の強化」です。今年度の役員体制については、新任の副会長を4名増員し、幹事会の活性化やそれぞれのネットワークを活用した会員の拡充に努めて参ります。また、各期の幹事体制についても強化を図り、財務基盤の安定化の為、魅力ある青雲会活動の機会を増やして参ります。

第二に「新たな交流の場の創設と促進」です。現状、役員との交流に留まっている文系他学部同窓会との交流・連携について、会員相互の交流の場を設ける等、会員レベルでの絆を拓く機会の拡充に努めて参ります。また、「若手交流会」「青雲塾」についても、多岐に渡るテーマで知的交流、懇親の機会を増やし、更なる充実を図ります。

第三に「人材育成支援」です。「青雲懸賞論文」や「青雲キャリア支援基金」を活用した法学部在学(準会員)の研鑽や社会進出支援もさらに強化していきたいと考えています。

最後に、今後とも青雲会の活動に皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げますと共に、来る7月20日の青雲会総会に多数ご参加賜りますよう宜しくお願い申し上げます。はなはだ簡単ではございますが、就任のご挨拶とさせていただきます。

## 青雲会名誉会長 ご挨拶



大阪大学大学院法学研究科長  
大阪大学法学部長

中山 竜一

この4月より大阪大学大学院法学研究科長・大阪大学法学部長を務めさせていただくことになりました。卒業生のみならずと在学学生とのつながりがいっそう密になることを第一に、努めてまいりたいと存じます。よろしくご指導、ご鞭撻のほどお願いいたします。

ご存じのように、大学を中心とする高等教育は、見通しのつかない社会の変化や科学技術の進展を受け、大きな変革を迫られています。大阪大学全体でもこの4月、そうした時代の変化にも十分対応できる教養と汎用力を兼ね備えた人材育成を念頭に、初年次に配置されていた従来の共通教育を抜本から見直し、学部1年次から大学院まで横断して専門科目と高度教養科目の両方を学び続ける新カリキュラムをスタートさせました。さらに、法学教育固有の改革としては、法科大学院制度の再編に合わせ、学部を3年で卒業後、法科大学院で2年間学べば司法試験受験資格が得られる、いわゆる「法曹コース」設置に向けて準備を進めています。また、教育の基盤である研究面では、昨年12月、大阪大学中之島センターを会場に、理化学研究所やIT関連トップ企業とも連携し、「AIと法」をめぐる第1回目のシンポジウムを開催しました。

もとより法理学・法思想史を専攻する者としては、新たな時代に合わせて自ら変わり続けるだけでなく、人間や社会の変わらない「基軸」を見失わないことも重要であると考えております。新たな現実と変わらないもの——この双方を若い学生諸君が身を以て学んでいくためには、何にもまして、先輩からの様々なかたちでの助けや支えが必要です。その意味でも、青雲会のみならず皆様のご理解とご助力は本当に貴重であると存じます。よりいっそうのご支援とお力添えを、何とぞよろしくお願い申し上げます。



## 国際公共政策学科長 ご挨拶



国際公共政策学科長  
松野 明久

この春で副学部長・国際公共政策学科長となり2年目を迎えます。青雲会のみなさまからはいつも学生への温かい支援をいただきましてありがとうございます。2008年4月にスタートを切って以来、国際公共政策学科は今年で11年目になります。第一期生が30才になるかならないかというところですが、世界の状況、日本の状況も彼らが入学した2008年とはだいぶ違ってきました。2008年に835万人だった訪日外国人数は2018年には3,119万人(推計)に膨れ上がり、日本人海外旅行者数も1,599万人(2008年)から1,895万人(2018年)に増えました。人の行き来だけを見ても国際化は着実に進んでいます。日本では外国人労働者受入れの拡大が決まりましたが、欧米では反移民の世論が高まっています。平和なイメージで日本からの留学生も多いニュージーランドのクライストチャーチで起きたモスクでの乱射事件は大きな衝撃を与えました。果たして日本社会はさらなる国際化に耐えていけるだろうかと心配になるこの頃です。国際公共政策学科では、外交・安全保障、共生社会実現、国際協力、紛争解決、貿易、財政、労働、男女共同参画といった現代の政策的テーマを扱っています。そこに集う学生たちは、教室だけではなく、活発にキャンパスの外、あるいは日本の外に知識や経験を求めます。国際化する日本社会を担い、いろいろな問題を解決してくれるのはそういう彼らなのだとは確信しています。

## 高等司法研究科長 ご挨拶



高等司法研究科長  
水谷 規男 (32期)

下村真美研究科長の退任に伴い、2019年4月から研究科長を務めることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

法科大学院制度がスタートして15年が経ちました。2004年にスタートした時点では70校を超える法科大学院に5,700人程度が入学していました。しかし、志願者減によって撤退を余儀なくされる大学が相次ぎ、平成30年には全国の法科大学院の入学定員は2,330人、入学者1,621人となっています。予備試験も志願者・入学者の減少に拍車をかけている要因で、高等司法研究科も3年続けて入学者数が定員を下回る状況でした。しかし2019年度は志願者も増加し、定員80人を上回る入学者を迎えることができました。司法試験の合格者数も、ここ数年は堅調に推移しています。また、先導的な取組を支援するとされる文部科学省の加算プログラムにおいても、平成31年度から5年間の取組みについて、最も高い加算率の9校に入ることができました(配分率は110%)。これは学生、修了生の頑張りと、青雲会をはじめとするOBの皆様のご支援の賜物です。

法曹養成制度をめぐる制度的要因が変化しても、社会に質の高い法曹を輩出するという法科大学院としての使命は変わりません。私たち教員も努力を重ねていきますが、今後とも諸先輩方の激励、支援を賜りますようお願いいたします。



役員挨拶



就活懇談会

## 阪大法曹会

大阪大学法曹会は阪大卒の司法試験合格者及び大学の先生方による高等司法研究学生に対する支援団体です。

2018年の司法試験は、全体としては受験者数・合格者数ともに新試験制度始めて以来の最少となりました。その中で阪大は受験学生の努力、若手法曹会会員の支援等で50名の合格者を出し、合格率全国7位の成績をキープいたしました。

現在、高等司法後援基金を通じ、下記の支援を行っております。

### 1. 法律文書錬成講座

若手司法試験合格者による法律文書書き方指導。

### 2. 修了生勉強会

未合格卒業生に対するグループ指導。

### 3. 必要資金の援助

### 4. 合格者に対する就活懇談





## 平成30年度総会報告

**日時** 平成30年7月21日(土) 10時30分開会  
**場所** 太閤園 ゴールデンホール  
**講演** テーマ「知っておきたい病気のメカニズム  
 一罹ってからでは遅すぎる—」  
**講師** 大阪大学教授 医学博士 仲野 徹氏

平成30年度の青雲会総会は、2018年7月21日(土)、太閤園のゴールデンホールにて、講演講師に大阪大学医学部教授の仲野徹氏をお迎えし、来賓の中尾敏充名誉教授、三成賢次副学長、林智良法学部長、松野明久国際公共政策学科長、下村眞美高等司法研究科長ほか多数現職教員の先生がたのご臨席のもと、総数87名の皆様のご出席をいただき、盛会裡のうちに終了しました。

### 1 総会議事 (10:30-11:15)

内藤会長の開会の挨拶に続き林名誉会長の祝辞をいただいたあと、内藤会長より平成29年度会務会計報告および会計監査報告がなされいづれも承認を得ました。次に平成30年度事業計画案および予算案が提出されいづれも承認されました。また、規約の改正案が提出され、活発な質疑応答ののち承認されました(なお、改正後の規約については、青雲会のホームページでご確認ください)。最後に学内幹事の松本和彦先生から大学の現状についての報告がありました。



講演 仲野 徹氏



現役学生の皆さん



懇親パーティー

### 2 講演 (11:20-12:20)

大阪大学教授、医学博士の仲野徹先生より「知っておきたい病気のメカニズム—罹ってからでは遅すぎる—」と題してご講演をいただきました。先生の広い視野や多趣味の生活からにじみ出るお人柄により、がんという深刻な病気の難しい解説も、大変分かりやすくお話しいただき、あっという間に60分が過ぎました。がんになりにくい生活習慣として非喫煙・節酒・減塩・活発な身体活動など、基本的な項目が挙げられ、日ごろの生活を改めて見直すきっかけとなりました。

### 3 懇親パーティー (12:30-14:30)

懇親パーティーは、旧制Ⅲ期の北野栄三氏の乾杯の音頭のあと、菅副会長の司会でなごやかに始まりました。今年は、卒業後間もない若手の会員や、在校生から多数の参加があり、昨年以上の盛り上がりを見せました。最初に自己紹介で登壇された在校生 14 名の皆さんには圧倒される思いでした。続いて、青雲懸賞論文受賞者の皆さんや卒業後20年、30年、40年を迎えられた会員の紹介がありました。そのあとの恒例のビンゴゲームでは、景品を手にした皆様から順にひとことずつ楽しいコメントをいただき、山本副会長の大阪締めによる中締めによりお開きとなりました。本年度も多数の会員の皆様のご参加をお待ちしています。

## 平成30年度卒業式・卒業修了祝賀会



2019年3月25日(月)、豊中総合学館にて法学部卒業式があり、法学部法学科より162名、国際公共政策学科より63名、計225名、法学研究科より40名の合計265名が卒業・修了されました。

法学部優秀賞授与式に続き、2018年度の青雲懸賞論文表彰式および青雲キャリアチャレンジ表彰式が行われました。青雲懸賞論文1席、2席、佳作の皆さんと、青雲キャリアチャレンジ賞1位、2位の皆さんに青雲会副会長から表彰状と賞金が授与され、卒業生の皆さんからの祝福をいただきました。

表彰式のあと開催された卒業修了祝賀会は、林法学部長の祝辞と松野副学部長の乾杯で始まりました。仲間同士や恩師を囲んでの和やかな懇談のあと、豪華景品をめざしてのビンゴ大会で大いに盛り上がりました。

この祝賀会は青雲会の主催ですが、当日の運営は法律相談部、法学研究会、交渉学研究会、公共政策研究会、国際法学研究会の5つの法学部公認サークルの在校生のみなさんが担い、出席者数は先生方や法学研究科卒業生を含め160名の多数になりました。

### 平成30年度卒業生の皆さん



法学科1組



法学科2組



法学科3組



法学科4組



法学科5組



国際公共政策学科1組



国際公共政策学科2組



# 青雲キャリア支援基金事業

学生支援室長 福井 康太

## 2018年度 法学部生のためのキャリア形成支援講演会(春・秋)

2018年度は、青雲キャリア支援基金活用事業「法学部生のためのキャリア形成支援講演会」を春と秋に開催しました。春の講演会(4月26日木曜日)では、山口広弁護士(東京共同法律事務所)をお招きして講演会を行い、主として新入生を対象として、最近学内で活動が活発化しているカルト系団体への注意喚起をしていただきました。また、秋の講演会(10月23日火曜日)では、大阪大学法学部を卒業して、法テラスの勤務弁護士になった馬場章廣さん(法テラス佐世保法律事務所)と、一般職として法テラスに就職した平原春菜さん(法テラス島根事務所)をお招きし、主として2年生を対象として、法テラスの仕事内容、学生時代にどのような思索を経て法テラスの仕事を目指すようになったか等について語っていただきました。



キャリア形成支援講演会(春)の様子

## 青雲キャリア支援基金キャリアチャレンジ賞

青雲キャリア支援基金活用事業として、2017年度から、「青雲キャリアチャレンジ賞」を設けています。これは、在学中に課外で取り組み、キャリア形成に向けて優れた成果を挙げた法学部生を表彰し、副賞を授与して、その成果を称えとともに、在学中のキャリア形成活動を促進することを狙ったものです。青雲キャリアチャレンジ賞が、今後、優れたキャリア形成活動の励みになるものとして広く認知されるよう、努めて参ります。



青雲キャリアチャレンジ賞受賞者の皆さんと

## キャリアデザイン・データベース

学生支援室は、学生のキャリア形成支援、修学環境の整備を目的とした組織として、様々な事業に取り組んでいますが、キャリアデザイン・データベースの構築は主要な事業のひとつです。今年も『皆さんのキャリアデザインのために～先輩方の活動体験記』を刊行しています。この小冊子には、就職活動・進学準備等の体験記と後輩へのメッセージを綴ったレポートの一部が収録されています。他のレポートや昨年度までのレポートは、学内のウェブサイトですべて閲覧できるようになっています。この小冊子の印刷費用とレポート作成者に対する謝礼(1000円の図書カード)は、2016年度より青雲キャリア支援基金によって支えられています。



『皆さんのキャリアデザインのために～先輩方の活動体験記』

# “青雲塾”よいとこ一度はおいで

青雲塾担当 松井 繁幸(23期)

昨年度の開催内容は次のとおりです。場所はいずれも大阪大学中之島センター。各回の詳細と過去の実績、次回の案内もホームページをご覧ください。 <http://www.seiunkai.net/kouryu/seiunjuku/>

## 第60回 ▶ 2018年 6月2日(土)

### 『新聞記者は何をしてきたか』

北野 栄三 先生(青雲会 旧制Ⅲ期)

毎日新聞記者から、毎日放送など、さまざまなメディアを経験され、現代の社会・政治状況にもジャーナリストの目で鋭い問題意識を持たれています。「ベトナム戦争を日本人に身近にしたのは”国際事件記者”として名を売った毎日新聞外信部長大森実の活動からでした。ジャーナリズムではたった一人の発想が大きい流れをつくることがあります。」(講師から)

今回ご参加の元朝日新聞記者の小橋繁好さん「私が新聞記者を志した大きな要因はベトナム戦争報道でした。今回、新聞記者の大先輩である北野栄三さんから当時の模様をお聞きすることができました。本当に有難う御座いました。」(第43回青雲塾講師)



背筋の伸びた姿勢で語る北野講師

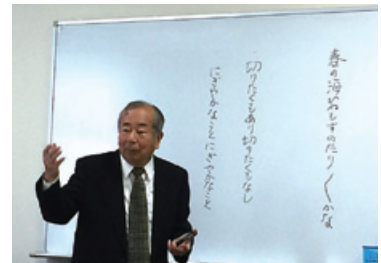
## 第61回 ▶ 2018年 9月22日(土)

### 『俳句あれこれ』

つぎい よしやす  
次井 義泰 先生(青雲会 11期)

当日は、次井講師が主宰される「花苑」の社中を含め、俳句の仲間が多数おいでいただき、20名を超える参加者で賑わいました。また、女性が半数を占めるという、青雲塾としては異例の華やいだ雰囲気で行われました。

次井講師は、お人柄が伝わってくる詳しい自己紹介の後、俳諧の歴史から、俳句と川柳の違い、作句のコツや鑑賞方法にまで話が及びました。また、最後に、参加者全員に、配布資料の自由20句から6句を選んでもらい、披講し、特選について鑑賞を述べる趣向がありました。それぞれ、どの句を選んで投票するか、好みや感覚の違いが分かって、格別な楽しさを感じました。



蕪村の句を引いて俳句の心に迫る次井講師

## 第62回 ▶ 2018年 12月9日(日)

### 『明治初年の堺県政と住民 —自治の視点から—』

山中 永之佑 先生(大阪大学名誉教授 青雲会 旧制Ⅲ期)

「青雲塾でのお話は大学の講義ではありませんので、堺県という私たちに身近な地域を事例として明治初年の県政と住民というテーマを自治という視点から話してみたいと思います。」(講師から)

青雲塾ご参加の皆さんから、山中先生のお話を聞きたいという強い希望が多数寄せられていました。後日、山中先生から「僕も楽しかった」との有り難いお電話をいただき、まさに青雲塾企画担当として冥利に尽きるというものです。



山中先生の卒寿の誕生日を3日後に控えて筆頭の塚口純行さん(4期 左)の音頭で乾杯!



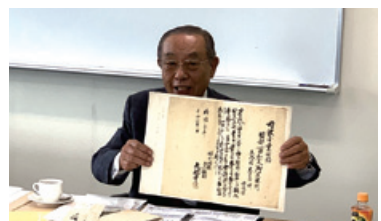
今、出版に向けて準備が進む800頁を超える著作について語る声に熱がこもる山中先生

## 第63回 ▶ 2019年 3月30日(土)

### 『元号 ア・ラ・カルト』

いどた ひろふみ  
井戸田 博史 先生(帝塚山大学名誉教授 青雲会8期)

「元号はわが国の長い歴史のなかで育まれた日本の文化です。明治以降、元号は大正、昭和、平成と替わりましたが、その法的はどうなっていたのでしょうか。現行法制では皇位継承は天皇崩御だけでは予定されていませんでした。生前退位による新元号は202年ぶりです。明治以降の元号についてエピソードを交えてお話します。」(講師から)



「終活でなく、さらに活動を広げる」



## 東京支部だより

東京支部長 西畑 一哉 (27期)



### ● 東京支部 連絡先

〒102-8336  
東京都千代田区三番町6番地16  
二松学舎大学  
TEL 03-3261-1298  
FAX 03-3261-1291

青雲会(大阪大学法学部同窓会)東京支部長の西畑一哉です。1979年3月に法学部を卒業、日本銀行を経て、2015年9月から東京九段にある二松学舎大学で仕事をしております。

最近の青雲会東京支部の活動について報告いたします。

昨年5月31日には、東京待兼会主催(青雲会東京支部共催)で、学士会館において、大阪大学大学院経済学科の佐々木勝教授から「モラルと経済学—社会規範を規定する制度設計について—」とのテーマで講演頂きました。心理学の領域にも踏み込んだとても興味深い講演でした。

また、昨年11月10日には、二松学舎大学のレストランで青雲会東京支部総会を開催し、総会後の講演会(東京待兼会共催)では、憚りながら「漱石アンドロイドとAIの未来」とのテーマで西畑が講演いたしました。現在学内の朗読授業だけでなく、各種シンポジウムで漱石アンドロイドを活用していますが、今後AIの搭載を想定している点に絡め、AI研究の最近の動きについても説明いたしました。漱石アンドロイドは、大阪大学基礎工学部の石黒浩教授の指導の下で、朝日新聞社から漱石のデスマスクや写真の提供を受けて完成したのですが、この記事に添付した写真は、その際、全面的にご協力頂いた朝日新聞社の石田一郎様(東京待兼会会員です)と漱石アンドロイドと西畑の3ショット写真です(写真上)。2015年末の「大阪大学の集い」で石黒教授と石田様に出会うことがなければ、漱石アンドロイドプロジェクトは成立しなかったことを思うと、母校の同窓会組織に感謝する気持ちで一杯です。なお、昨年8月末に二松学舎大学で「誰が漱石を甦らせる権利を持つのか」とのテーマでシンポジウムを開催し、大阪大学特任教授の平田オリザ先生に漱石アンドロイド演劇「手紙」の初演をしていただきました。これも母校の縁で実現できたことであり、とてもありがたいことと思っています(このシンポジウムの模様等は「アンドロイド基本原則」(日刊工業新聞社)という本に纏めさせて頂いております)(写真下)。

最近東京の幹事会では、篠崎光宏幹事長のご尽力もあって、少しずつ中堅若手会員の参加が増えて来ています。「大阪大学の集い」等の場でもネットワークの拡大に努め、各種青雲会関連行事への参加者を増やしていくつもりです。また、現在支部活動を活性化させるための施策を募っています。アイデアがございましたら、篠崎幹事長(mitsuhiro.shinozaki@sojitz-sogokanri.com)もしくは西畑(k-nishih@nishogakusha-u.ac.jp)までお申し出ください。

## 名古屋支部だより

名古屋支部長 中嶋 利幸 (19期)



名古屋地区では東海地方に在住の卒業生を対象として、経済学部同窓会と合同で、『名古屋待兼会』を運営しています。主な活動は2,4,6,9月の例会と11月の総会です。

例会は、名古屋市内のホテルで行っており、約2時間半の会で、毎回、20~30人の参加者で運営しています。まず会のはじめに同窓生が持ち回りで30分ショートスピーチを行っていて、昨年の例会では、『民主党解党の渦中で感じたこと』、『尾張藩藩祖 徳川義直』、『遺言と相続』、『眼とカメラ』と政治、法律の話から歴史、科学まで幅広い演題が提供されました。そして、スピーチの後は約2時間、食事とお酒を楽しみながら、出席会員の近況報告や懇談などで会員同士の交流をするというのが、例会の内容です。

そして11月の総会には、大阪大学大学院経済学研究科長・経済学部長の谷崎教授にご出席賜り、母校の近況や『計量経済学』についてお話し頂きました。

近年は東海地区の経済の活況ぶりが話題になっていますが、それに伴い、大阪大学卒業後、東海地区に就職する方や、関西や首都圏から転勤で来られる方が増え、名古屋周辺に在住される阪大卒業生の方が漸増しているとお聞きします。残念ながらその増加率ほどは、名古屋待兼会の会員が増えていないという実情にあり、今後とも新しく来られた方に入会されるようお誘いをしていきたいと思っていますので、すでに東海地区にお住みの方で入会を希望される方、これから転入予定の方は是非、以下の連絡先にコンタクト頂きますようお願いいたします。

### ● 名古屋支部 連絡先

〒466-0812 名古屋市昭和区八事富士見1304 中嶋 利幸 TEL&FAX 052-834-0607

## 青雲会囲碁同好会のご案内

気楽な雰囲気でのみんな囲碁を楽しんでいます。高段の方も級位の方も幅広くいらしゃるので、ぜひ参加して、交流や棋力の向上を図ってください。

…活動は燦碁会(経済学部OBの囲碁同好会)と合同で行っています。

### 定例会

日時:2月、5月の第三土曜日13:00~17:00

場所:日本棋院梅田囲碁サロン

大阪市北区角田町1番12号 阪急ファイブアネックスビル6F

阪神・阪急梅田駅より徒歩5分、地下鉄梅田駅、JR大阪駅より徒歩10分

TEL: 06-6364-5841 HP: <http://www.nihonkiin.or.jp/sisetsu/umeda/info.html>

席料:1,230円(日本棋院会員は1,030円)



・イベントにも奮ってご参加ください。

1月:新年碁会(全大阪大学・アルプス江坂碁センター)

8月:トーナメント大会(マイドームおおさか)

11月:現役大学生との交流戦(アルプス江坂碁センター)を開催しています(別途、参加費用をいただきます)。

### 連絡先

青雲会囲碁同好会幹事 銭尾 正和(ぜにおまさかず)まで TEL:080-7035-9285 E-mail:tennohikarihasubetehoshi@hotmail.co.jp

## = ゼミ同窓会報告 =

## \*\*\* 小原ゼミ 新年会 \*\*\*

2019年1月3日、三が日も明けぬうちに、懐かしい石橋にて国際公共政策学科の小原美紀先生のゼミ卒業生による新年会を行いました。ゼミの5期生(法学部64期生)が声を掛けたので、卒業後1年~3年目のメンバー中心に約15名が参加しました。卒業後数年経つと、異動や、大学院を終え次のステップ(専門性を活かした就職、海外の大学院への進学)へ進む仲間も出てきます。「え~そうなんや!」と大阪の大学らしいリアクションを取りながら、様々な業種、環境に身を置くもの同士、話題は尽きることなく盛り上がりました。小原ゼミでは毎年秋ごろに旅行を開催しています。次に会うのはそのときでしょうか。またそのときにおもしろい話ができるようにお互い頑張ろうと、懐かしい石橋の町を後にしました。



## \ 同期会の開催報告 /

## ●● 昭和29年入学同期会 ●●

法学部同期会(昭和29年入学)は2月20日ホテルグランヴィア大阪で開催されました。毎年をはるばる東京から参加してくれていたK君が酸素ボンベを牽引するハメとなり残念ながら今年は欠席となるなど、高齢化のためいろいろと支障は出てきておりますが、それでも16名の同期生が元気に顔を出してくれました。

世話人としてこの会もそろそろ終活に入るべきではないかとも考えましたが、懐かしいことや楽しいことを思い出すと血流が良くなり脳も活性化するという話も出たりして、もうしばらく続けようじゃないかということになりました。そんな訳で来年2月18日(火)正午から同じ場所での再開を約して散会しました。

芳村 昭宏 (6期)



## ●● 昭和38年入学同期会 ●●

昭和38年入学同期会「待兼会」は、20年以上前から原則1泊2日で関西や東京で開催しており、毎年20名強が参加しています。

2018年は、小林克彦、林宏中、水上義久君達の世話で、5月16日から17日にかけて東京で開催されました。

まず16日の午前中、ツアーガイドの国家資格を持つ小林君の案内で、参加希望者が旧芝離宮恩賜公園を見学。

午後から学士会館で宴会と二次会を開催。宴会には、昨年に続きドイツ在住の藤井君、紅一点の三好さんを含め22名が出席。待兼山時代を思い出しながら、近況を報告、旧交を温めました。

翌17日も小林君の案内で、希望者10名弱が新緑の美しい皇居東御苑を散策しました。

2019年は、今城君の幹事で、5月21日~22日に世界遺産 高野山で開催の予定です。

原田 雅男 (15期)





●● 昭和44年入学同期会(東京エリア) ●●

44年入学の東京エリアでの同期会を年2回開催しています。毎回十数名の参加ですが、今回は、1月19日(土)に大阪からI氏、K氏の参加を得て、13名で開催しました。このところの開催は八重洲の「稲田屋はなれ」が定番の店になっています。久々の各人毎の近況報告や昔話で大いに盛り上がりました。古希になり、まだまだ現役の人、リタイアして悠々自適に趣味、孫の世話等に忙しい人と色々ですが、やはり残念ながら病気の話が概ね共通の話題とは言え、飲み放題の元を取る飲みっぷりに、まだまだ若さを感じられ頼もしい限りでした。

次回は6月8日(土)開催の予定ですので、今回参加できなかった方も是非参加ください。  
渡辺 五夫(21期)



●● 昭和47年入学同期会 ●●

平成31年2月10日、昭和47年法学部入学同窓会を大阪大学中之島センターで16時より行いました。関西は勿論、長崎、島根、名古屋、仙台、東京、埼玉等々各地から総勢30(内女性4)人が集いました。還暦記念を契機に始めた合同同窓会も、最近は何の元気確認にもなり、今年で6回目となりました。民法改正(相続法)大阪万博概要の同期二人による講話、出席者各自の現役継続・新たな挑戦等の報告ありの2時間半でした。毎年開催他、2022年3月18日(金)の入試合格50年記念をやろうと盛り上がりました。

共に学んだ同期が、大阪・東京で年1回は顔を合わせる機会を持つべく、声掛けを続けたいと思います。  
梅原 保(24期)



●● 昭和50年入学同期会 ●●

我々1975年入学同期では年に1度同期会を開催しています。丁度同期の三木君が法学部同窓会青雲会の会長を引き受けたときにこれを機会に同期で集まろうという話になりました。最初は大阪、次に東京で開催し、そのあとは各地に住まう同期が幹事となって一泊旅行を兼ねて集まっています。今までは、愛媛、松江、神戸、岡山、金沢等で開催してきました。幹事が各地の名所、自慢の味覚処などをアレンジしていただいています。事前に下見までして移動時間もしっかり確認頂いているので充実した旅行となっています。また、夜の宴会がまたまた盛り上がります。わいわいがやがやと賑やかなこと、そして来年の同期会はどこにするか?という話題になり、自然体か無理やりか分かりませんが、宴会終了までには次の開催地が決まってしまう。ちなみに次は名古屋になりました。  
野村 史郎(27期)



《平成30年度 青雲懸賞論文受賞者決定》

平成30年度の青雲懸賞論文は、多数の応募の中から以下の4本が優秀論文として選ばれました。優秀論文は3月25日の法学部卒業式において表彰されました。



平成30年度 青雲懸賞論文 受賞者の皆さん

- 1席** 公4年 山田 葵(やまだ あおい) 法4年 中坪 彩美(なかつぼ あやみ)  
「選挙監視との決別～中国の台頭による民主主義の後退～」
  - 2席** 公2年 木本 雄大(きもと ゆうた) 公2年 金井 明日香(かない あすか)  
「『主催者の戦略』がもたらす政治デモの規模縮小～Women's Marchの分析を通して～」
  - 佳作** 公4年 田原迫 まどか(たはらさこ まどか) 公2年 野元 聡真(のもと そうま)  
「自治体の住宅補助政策は子育て世帯の転入を促進するか  
～大阪府の市町村別パネルデータを用いた分析～」
  - 佳作** 公4年 前川 賢太(まえがわけんた) 公3年 白木 亮太郎(しらきりょうたろう)  
公2年 野村 彩世(のいり さよ)  
「老朽化する社会資本のリノベーションに関する実証分析  
～維持修繕工事の入札契約制度の再検討～」
- ※新人賞(1年生対象) 応募なしにつき該当なし



## 活躍する卒業生 I

# 「大阪国際交流センターへ お越しく下さい」

公益財団法人 大阪国際交流センター 理事長

内本 美奈子【29期】



平成30年3月末に37年間勤務した大阪市役所を退職し、退職前の6年間は、大阪維新の会の橋下市政、吉村市政の下、こども青少年局長としてある程度活躍した後に、このような欄に原稿を依頼され戸惑っていますが、6月25日に就任した、(公財)大阪国際交流センター理事長として感じていることを、財団の宣伝も兼ねて書かせていただきます。

大阪国際交流センターは、昭和62年に上本町の元大阪外国語大学の跡地に建設され、財団法人として市民レベル・都市レベルの国際交流、多文化共生のまちづくりに向けた取組みを進めてきました。その後、公益財団化、市政改革での外郭団体の見直しで、センターの建物は公募で民間会社が運営、(公財)大阪国際交流センターはソフト事業のみを行うこととなり、経営の自立化、安定化に努力した結果、平成29年度に大阪市の外郭団体として位置づけられたところです。

安定する間もなく、昨年(2018年)の就任直前の地震や夏の台風は当財団に新たな課題を投げました。当財団は国の自治体国際化協会から地域国際化協会と位置付けられており、災害時には自治体と連携し、「多言語支援センター」を設置することとなっています。役割は、外国人住民への情報提供、相談、避難所への通訳派遣です。6月の地震当日は大阪市内に災害対策本部が設置されたのを受け、当財団も職員が出動しセンターを立ち上げ、外国人住民や領事館からの問い合わせに対応しました。大阪市内はほとんど被害がなく事なきを得ましたが、あの地震が市内中心部で起こっていたら、と考えると、当財団が多言語支援センターとしての役割を果たすために、財団職員の研修の充実、災害ボランティアの拡充、情報提供、通訳派遣の仕組みを確立しなければと実感しました。

その上に今般、外国人労働力受入れの関連法案が可決され、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」に各省庁の予算が計上されまし

た。大阪市の在留外国人は人口の5%と高く、特に中国人、ベトナム人の増加が顕著です。今回の国の予算には、外国人住民の生活に関することの相談窓口として、最も身近な地方自治体が「多文化共生総合相談ワンストップセンター」を設置する支援として、法務省の30年度補正予算10億円、31年度予算10億円が国会で可決され、成立しました。当財団は、これまでも多文化共生に向けてインフォメーションセンターの運営、トリオフォンによる通訳支援、ボランティアの通訳派遣等の業務を行っていますが、ワンストップでどこまでの機能が果たせるのか、今後の見通しは、等々不明な点が多いのも事実です。とは言え、待たなしの中で、住民として受入れる自治体がしっかり支援をし、外国人材に選ばれる都市になるよう、縦割り行政の受け皿としてしっかりと役割を果たしていきたいと考えています。

当財団の強みは、たくさんのボランティアの方々の活躍です。市民レベルの交流事業も多く、決して敷居の高いところではありません。大阪大学に学ぶ多くの留学生にも色々な行事に参加してもらっています。青雲会の皆様も、様々な形でのご支援をお願いいたします。

連絡先:公益財団法人 大阪国際交流センター  
TEL:06-6773-8989 <http://www.ih-house.or.jp/>

大阪国際交流センター

検索





## 活躍する卒業生 Ⅱ

## 「海外企業法務15年」

2003年卒  
ダイキン工業株式会社  
法務・コンプライアンス・知財センター課長

## ゲレンチェール・ガーボル【51期】

ご専門は何ですか。自己紹介の折、大手弁護士事務所の先生方から、良く受けている、何ともお答えしにくい質問です。今、何が忙しいですか。このような質問なら、詳しくお話できます。後ほど事情をご説明するとして、先に、私の日本へ来た経緯などについて語りたいと思います。

私は母国ハンガリーでロースクールに入学して2年目で、文部省からの奨学金を受け日本へ留学し、1年間日本語学校に通った後、大阪大学の法学部を卒業しました。当時の志は、ハンガリーで国際感覚のある弁護士になることでしたが、いざ大阪大学を卒業すると、日本のグローバル企業の本社で社内法務の経験を積んでみよう、思い立ちました。就職氷河期と言われていた当時、日本人の学生と同じリクルートスーツを着て、40社以上応募し就職活動しました。商社や金融はカッコいいと思い(込み)ながらも、内定もらったのは自動車業界の2社のみ。自動車について全く詳しくありませんでしたが、幸い、トヨタ自動車に入社することが出来ました。入社後、まだ外国人の採用は普及されていなかった時代でしたので、1年間の契約社員として国際法務室へ配属され、結局、契約を更新しながら、愛知県の豊田市で7年間トヨタの国際法務室にお世話になりました。そして、2010年に、今も勤めているダイキン工業へ入社しました。

2011年から2015年まで、ダイキンの欧州・アフリカ・中近東地域に於いて空調事業を統括しているダイキンヨーロッパへ赴任し、ベルギー本社から、各国の訴訟対応、契約交渉サポート、企業法務一般を担当致しました。2015年にダイキンの大阪本社へ帰任した際、法務グループへ配属された時、何と、阪大のお膝元の池田市に良い物件を見つけ、今も楽しく暮らしています。学生時代も近くに住



んでいましたので、石橋駅の商店街を通る度に、不思議に思います。とは言え、妻は大阪出身で、元々同じく阪大生だったことを考えると、話は繋がるかもしれません。

大学を卒業して企業法務一筋15年ながら、「専門」について質問されると困ってしまう事情について、話を戻します。トヨタの国際法務室では約4年間、ロシアなど海外工場の設立支援法務がメインで、その後、主に国際税務に関係する海外訴訟対応が「忙しかった」です。ダイキンヨーロッパでは、少人数の法務部で、とても広い地域を担当し、文化、言葉は勿論、法律もそれぞれ違う多くの国の訴訟や法務トラブル、契約交渉への対応を推進しました。会社の事業部、幹部との橋渡し役として、海外の専門家、弁護士や税理士、公認会計士、各種コンサルの方々からアドバイス頂きながら、色々な案件を一つ一つ処理することで「忙しく」してきました。ダイキン工業の大阪本社へ帰任してから、ここ3年忙しくしているのは、本社M&A案件に絡む法務マターに加え、主にコンプライアンス関係の業務、具体的には、贈賄防止と個人情報保護に関する社内制度作り、社内ルール策定、及び、海外子会社への制度展開です。このように、15年間の間3~4年毎に、会社ニーズに合わせ、業務内容も大きく変化してきましたので、これぞ僕の専門だ、とまで言い切れる分野は一つもありません。いや、社内の法務マンはこんなものかもしれません。3年後、何が「忙しく」なるか、実はよくわかりません。今日の忙しさは過去のものになることだけが、確かだと思います。

## 2018年度青雲会行事等報告

月	日	曜	行事等
<b>2018年</b>			
4	2	月	法学部1年生オリエンテーション(於:豊中総合学館301講義室) 大学院高等司法研究科オリエンテーション(於:豊中総合学館501講義室)
	4	水	大学院法学研究科オリエンテーション(於:豊中総合学館501講義室)
	26	木	第1回幹事会(於:大阪大学中之島センター)
	30	月	2018年度青雲会会報発行
6	2	土	第60回青雲塾(於:大阪大学中之島センター)
	5	火	第1回青雲キャリア支援基金運営委員会(於:大阪大学中之島センター)
	13	水	第2回幹事会(於:大阪大学中之島センター)
7	21	土	青雲会総会(於:太閤園)
9	11	火	第3回幹事会(於:大阪大学中之島センター)
	22	土	第61回青雲塾(於:大阪大学中之島センター)
10	26	金	若手交流会(於:大阪大学中之島センター)
11	1	木	青雲懸賞論文募集開始(2019年1月17日締切)

月	日	曜	行事等
11	10	土	東京支部総会(於:二松学舎大学九段キャンパス)
	17	土	名古屋支部総会(名古屋待兼会総会 於:名古屋ローズコートホテル)
	28	水	文系学部同窓会幹事合同懇談会(於:ガーデンシティクラブ大阪)
12	3	月	第4回幹事会(於:住友クラブ)
	9	日	第62回青雲塾(於:大阪大学中之島センター)
<b>2019年</b>			
2	12	火	第5回幹事会(於:大阪大学中之島センター)
3	8	金	青雲懸賞論文審査結果発表
	25	月	卒業式、懸賞論文表彰式(於:豊中総合学館401講義室) 青雲キャリアチャレンジ賞表彰式(於:豊中総合学館401講義室) 卒業修了祝賀会(於:豊中総合学館402講義室)
	30	土	第63回青雲塾(於:大阪大学中之島センター)

## 2018年度決算報告と2019年度予算(案)

### (概要)

収入の部		支出の部			
項目	2018年度 (H30年度)決算	2019年度 予算	項目	2018年度 (H30年度)決算	2019年度 予算
会費収入	4,343	5,600	総会費	764	760
懇親会収入	505	555	会報費	2,167	2,200
その他収入	209	205	ソフト保守費	389	390
			支部助成金	370	370
			ローヤリング助成金	200	200
			一般助成金	255	250
			懸賞事業費	236	270
			司法基金援助金	300	300
			塾・部活動費	145	150
			若手交流会	0	50
			人件費	655	650
			その他経費	805	770
収入計	5,057	6,360	支出計	6,286	6,360
(単位:千円)					
収支差額				△1,229	0
前期繰越金				3,486	2,257
次期繰越金				2,257	2,257

※ 本案は総会でご審議いただきます。

## 青雲会 役員(案) 任期: 2019年4月1日~2021年3月31日

役職	氏名	期	担当(*:主担)
名誉会長	中山 竜一		
会長	片岡 和行	24期	
副会長	山本 茂伸	22期	・総会* ・総務*
副会長	松井 繁幸	23期	・青雲塾*
副会長	西尾 公一	25期	・組織強化(正会員)* ・財務・青雲塾
副会長	松本 克己	26期	・総会* ・財務* ・キャリア支援
副会長	野村 史郎	27期	・組織強化(正会員)* ・財務*
副会長	沖田 拓司	30期	・組織強化(正会員)* ・財務・キャリア支援
副会長	川村 雅志	31期	・組織強化(正会員)* ・交流促進*
副会長	西井 秀行	36期	・組織強化(準会員)* ・キャリア支援* ・WEB管理*
副会長	菅 聡一郎	40期	・総会*
副会長	嶋津 裕介	45期	・若手交流会*
副会長	堀木 由紀	46期	・懸賞論文審査* ・若手交流会
副会長	橋本 正博	60期	・組織強化(正会員・準会員)* ・若手交流会 ・キャリア支援
幹事	(各期)		
	うち特に担当を委嘱する幹事		
	西畑 一哉	27期	・懸賞論文審査
	末澤 豪謙	32期	・懸賞論文審査
	川上 良	39期	・懸賞論文審査
	石黒 陽子	49期	・青雲塾 ・情報発信機能強化
会計監査	西村 元昭	14期	
会計監査	松本 綾	40期	

### 事務局

事務局 局長	西尾 光代	30期
--------	-------	-----

## 青雲会からのお知らせ

### 同期会や同窓会をしませんか!

同期会や、恩師を囲んでのゼミ同窓会などの開催に会員管理システムをお役立てください。

- 入学年度での同期会の開催
- 出身ゼミごとの同窓会の開催
- 居住地やエリアごとの同窓会の開催
- 勤務先内での同窓会の開催
- その他にも、出身校や出身都道府県ごとの同期会、同窓会の開催にもご利用頂けます。

事務局は大阪大学豊中キャンパスの法学部本館1階(正面玄関入って右手、右側)の「法高連携支援室」にあります。  
月、木の週2日、午前10時~午後4時(11時30分~12時30分昼休み)に在室しています。  
会員の皆様のご連絡をお待ちしています。

事務局まで  
お問い合わせ  
ください。

TEL:06-6850-5198  
メール:ishibashi@seiunkai.net

青雲会事務局 西尾 光代(30期)